

【吉泉保育園】

設置者：吉泉産業株式会社

従業員数（男女比）：90名（79：11）

主な事業：食品加工機械の製造、販売

（１）運営の概要

保育所の場所	〒573-0128 大阪府枚方市津田山手二丁目 895 番 43 けいはんな学研都市に立地する津田サイエンスヒルズ内 ・公共交通機関としては、JR 津田駅より津田サイエンスヒルズ循環バスを利用できる。		
運営方式	直営		
定員	19名（従業員枠：19名、地域枠： 名） 乳児：2名、1歳児：3名、2歳児：4名、3歳児：5名、4歳児以上：5名		
児童対象年齢	0歳～就学前まで		
保育時間	（通常保育）平日：7：30～18：30、土曜日（不定期）：7：30～18：30 （延長保育）平日：7：00～19：00、土曜日（不定期）：7：30～18：30		
利用料金	（月極保育料）32,000円/月 （延長保育料）1,000円/30分		
共同設置・共同利用の有無	地域企業との共同利用		
職員体制	園長1名、保育士2名（保育士比率50%）、子育て支援員2名、看護師1名、事務1名		
保育室面積	207㎡（保育室 55㎡、乳児室 22㎡、屋外遊戯場 130㎡）		
整備（設置）費用 見込でも可	助成費用 見込でも可	約17,000万円 （建物費用）	約11,000万円
年間運営費用 見込でも可	年間助成費用 見込でも可	約3,600万円	約2,700万円

（２）設置までの流れ

設置までの検討期間	平成28年4月～平成30年3月
整備費申請年月日	平成28年6月28日
運営費申請年月日	平成29年度申請予定
整備費採択年月日	平成28年10月13日
運営費採択年月日	平成29年度申請予定
工事期間	平成29年3月～平成30年3月
開設年月日	平成30年4月1日

（３）設置のきっかけ・背景・理由

<ol style="list-style-type: none">1.当社が立地する津田サイエンスヒルズは多くの企業が集積している（21社、従業員約1,000名）。2.従業員の平均年齢が比較的低く、子育ての側面から当地区における保育所の潜在ニーズがあった。3.企業側からは、優秀な人材採用、確保に保育所設置は有効な施策のひとつであった。

4. 企業主導型保育事業によって、一気に展開が図れた。

(4) 設置までのプロセス

社内における意思決定のプロセス

社長主導の経営会議で提案、説明、決議に至る。

従業員のニーズの把握や利用者の見積りについて（地域枠の設定・規模の検討を含む）

以前、津田サイエンスヒルズ内企業の従業員を対象に保育所ニーズに関するアンケートを実施しており、当地に保育園が開設された場合の利用希望者数は概ね把握できていた。

当初は女性が子どもを預けるイメージでいたので、津田サイエンスヒルズ内の企業に女性の従業員数や、保育所に預ける子どもの人数を聞いていたが、実は父親が子どもを連れて保育所に預け、入社するというケースも多いことがわかった。

土地、場所の確保について

当社が所有する食堂敷地内に建物を設置できるため、新規の土地購入等の費用発生が無かった。

設置方式の選択について

定員 19 名と比較的小規模であり、当社単独設置とした。

自治体との連携について

助成金申請の計画段階から枚方市に赴き指導を受けた。具体的には「枚方市地域型保育事業の設備及び運営に関する基準を定める条例」を基に当社計画の不明確な点をご指摘いただいたり、今後の運営の参考にするため、既存の保育所への視察もアレンジしていただいた。

申請書作成に当たっては、大阪府のご担当者様に来社いただき内容確認をお願いした。

保育士の確保方策について

開園が平成 30 年 4 月からで、今少し時間があるので未だ具体的な方策は決まっていない。

上記のほか、特に留意した事項や工夫・苦心した事項 等

設置～運営が複数年に亘るが、助成金申請は単年度扱いであるため、対象工事内容や金額の整合性に苦心した。

(5) 保育施設の運営について・・・現在整備費の助成を受けて事業を推進中であり、運営に関しては実績なし。

記載内容につきましては、内閣府 HP に掲載されている「平成 28 年度 子ども・子育て支援新制度フォーラム」配布資料もご参照下さい。(URL: <http://www8.cao.go.jp/shoushi/shinseido/event/forum/2016/index.html>)

